

国際共創学部（国際共創学科）の入学者受入れの方針（Admission Policy; AP）・入学者選抜方法指針

本学部本学科の「理念・目的」「教育目標（人材育成方針）」、学位授与方針（DP）、教育課程の編成・実施方針（CP）を踏まえ、以下のように入学者受入れの方針を定める。

(AP1)求める学生像

(AP1-1)歴史、文化、社会、自然環境に関する学修で得た知識を総合的に活用し、地域及び地球規模の様々な現象・課題について関心を持ち、その解明・解決を目指す人 ①*・②*

(AP1-2)多様な背景をもつ他者と協働しながら、データ分析や実践学修を通して、地域及び地球規模の様々な現象・課題を俯瞰し、自分の考えを論理的に表現・発信できる人 ②*・③*

(AP1-3G)【国際日本学】多様な文化や国際交流に興味があり、日本語及び英語の運用能力の向上を目指しながら、地域や国際社会の発展に貢献することを目指す人 ③*

(AP1-3E)【環境サステナビリティ学】人と自然環境との関わりに興味があり、人と自然とが共生する持続可能な社会の実現のため、環境に関わる様々な課題の探究や問題解決に意欲を持つ人 ③*

*番号①、②、③は学力の3要素（下記学修成果）との関係性を示す

①基礎的・基本的な知識・技能

②知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その課題に向けて探究し、成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力

③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学修する態度

(AP2)入学者の選抜方針

入学者の選考に当たっては、本学部と各専攻の「求める学生像」を考慮しつつ、細心の注意を払って公平かつ適正に選考を行う。

(AP3)大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

・英語：海外でのフィールドワークや英語による授業、外国人学生とのコミュニケーションに必要な基礎的なリスニング力、スピーキング力。英語の書籍や文献の内容を理解し、自分の意見を文章で表現できる基礎的なリーディング力、ライティング力。さらに英語の運用能力の向上に強い関心があること、又はその実績（検定試験等）があること

・国語：様々な文章を適切に理解する読解力。自分の考えを論理的に記述し、発信するための文章力。さらに日本語の運用能力の向上に強い関心があること、又はその実績があること

・数学：数値データを分析する上で必要となる基礎的な数式やグラフを理解する力。さらに論理的思考力の向上に強い関心があること、又はその実績があること

・人文学系や自然科学系の様々な分野の学修にもとづく幅広い基礎的知識

・地域・社会的活動（ボランティア等）や海外留学に関心があること、又はその実績があること

・【国際日本学】日本及び世界の歴史・文化・社会に関心があること

・【環境サステナビリティ学】日本及び世界の自然・生活環境に関心があること